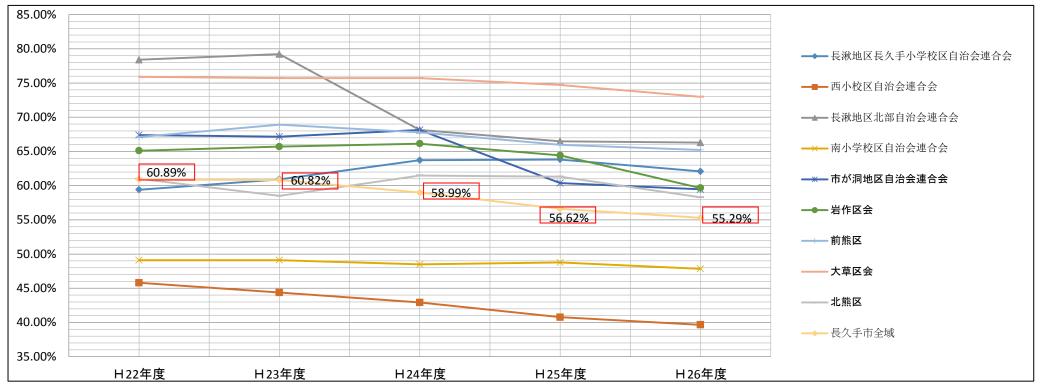
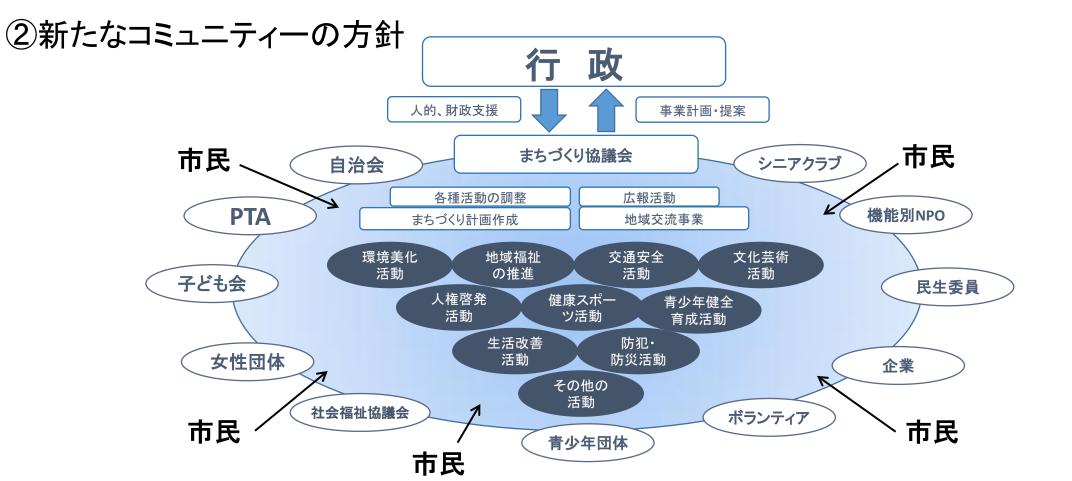
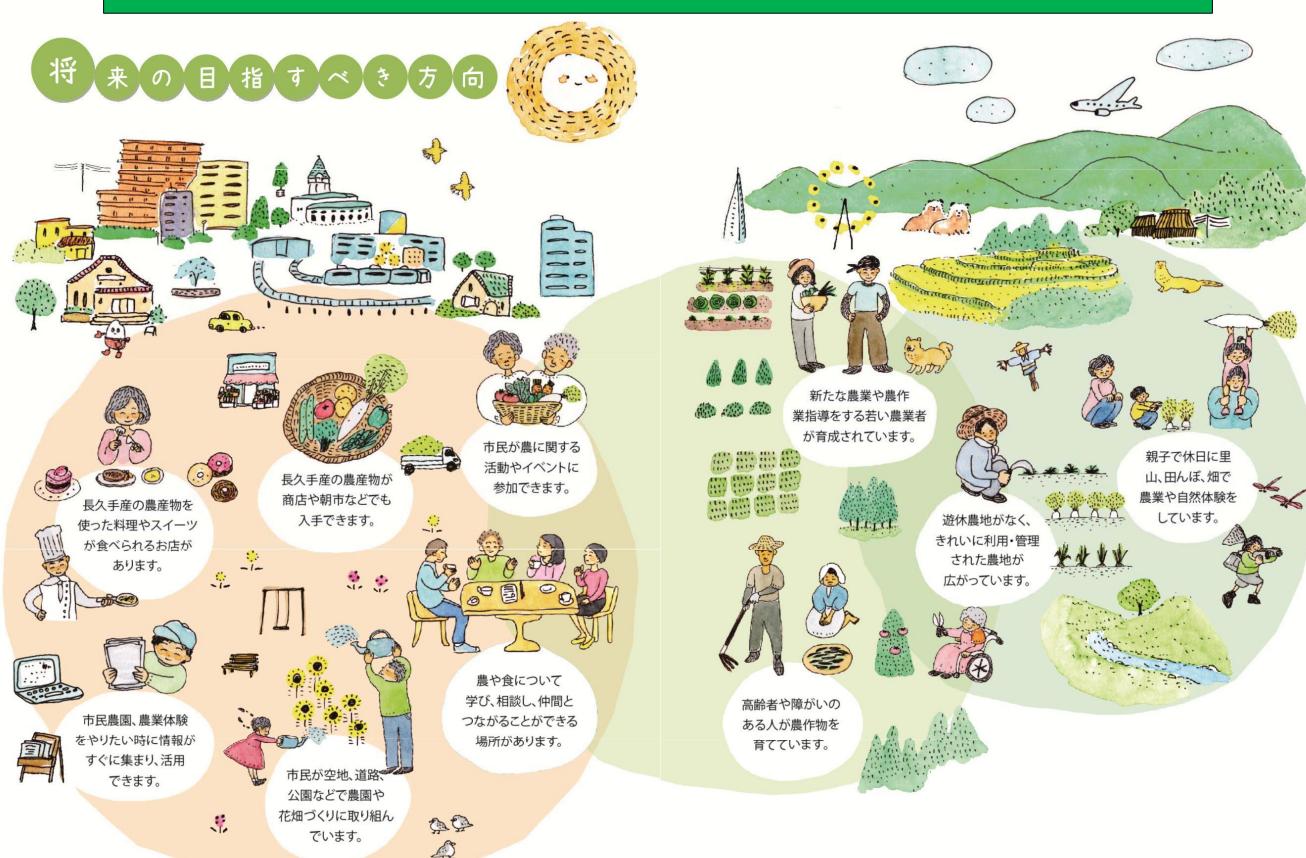
長久手のコミュニティーについて

①自治会加入率の推移





農あるくらし~長久手田園バレ一基本計画~



※「長久手田園バレー基本計画」より抜粋

基本目標

基本目標1

楽しく元気な農"業"の発展

□ 重点プロジェクト①

農地や田園風景の保全・創造・活用

□ 重点プロジェクト②

基本目標3

農を通じた安全な"食"生活の実現

□ 重点プロジェクト③

くらしに身近な場面で親しめる農の展開

□ 重点プロジェクト④

基本目標5 農に関する"縁"づくり

□ 重点プロジェクト⑤

点プロジェク

重点プロジェクト① 農の多様な担い手の育成

活動その1 若者の新規就農者の発掘・育成

活動その2 農のボランティア制度の導入

活動その3 農業者の活用の多様化

活動その4 「主婦農園」「農カフェ」の開設・運営



重点プロジェクト② | 美しい田園・里山の保全・活用

(仮称)ふれあい市民農園センターづくり 活動その1

香流川に源流の里!三ケ峯地区の田舎の原風景保全 活動その2

東山・松杁地区の里山保全と整備 活動その3

重点プロジェ1ト③ 長久手産農産物を食べてつながる機会がくり

長久手産農産物を食べてつながる「ながべジ会」の開催 活動その1

活動その2 「畑と食卓をつなぐ料理教室」の開催



重点プロジェクト④ 誰でも身近に農にふれられる場づくり

街区農園づくり 活動その1

活動その2 収穫体験の開催

○○のついでに"農"にふれる場づくり 活動その3

活動その4 田んぼで遊び、農村文化にふれる機会づくり

重点プロジェクト⑤ 農のあるまちのプロモーション

長久手おするわけ朝市の開催 活動その1

半日で農を楽しめる観光メニューの企画 活動その2

飲食店と連携した「長久手産農産物ウィーク」の開催 活動その3

活動その4 農のあるまち長久手を PR するシンボルマー1の作成



長久手市生きものマップ

長久手市では、平成24年度から25年度にかけて市内の動植物調査を実施しました。 現地での確認のほか、過去の資料を調べたり、専門家からの聞き取り結果をもとに調査をおこないま した。この「長久手市生きものマップ」は、これらの調査結果を「環境指標種」と「外来種」の2つ の観点から、わかりやすくまとめたものです。

【1】「環境指標種」の分布と特徴的な自然環境

「環境指標種」とは?

森や水辺など、特定の環境との結びつきが強く、その環境の指標となる生きものたちです。 今回の調査では、117種の生きものを長久手市の環境指標種に選んで調査し、3,338件の情報が集まりました。 これらの生きものの情報をさらに集めることによって、市内の環境の特徴が分かってきます。

⑦ 水田地帯

香流川沿いの水田地帯では、ケリやオ オヨシキリなどの鳥類、カエル類やそ れらを餌とするヘビ類がみられます。



⑥ 香流川

香流川では、コバルトブルーの羽が美しいカワ セミが目を引きます。オイカワ、タモロコ、モ ツゴ、カマツカなどの魚やニホンスッポン、ハ グロトンボなどがみられます。





ハグロトンボ

⑤ 杁ヶ池公園

杁ヶ池を中心とした公園で、池の周囲にはヨシ がはえ、樹木も多くみられます。池ではカルガ モやカイツブリが羽を休め、花壇ではツマグロ ヒョウモンなどのチョウもみられます。

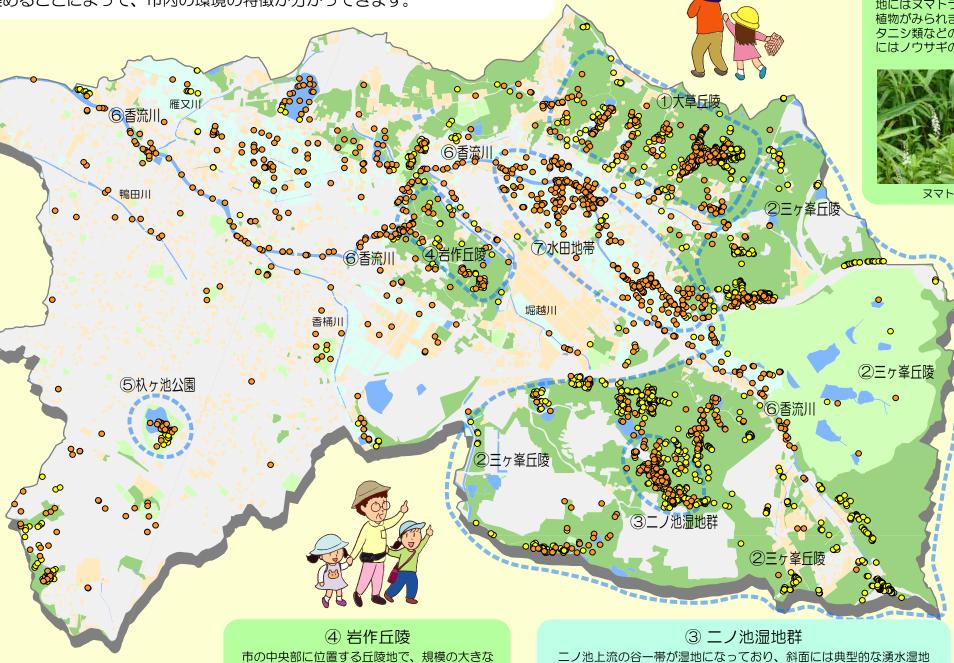


植物

山林等 \blacksquare

> 河川・池沼 公園・緑地等 その他(市街地等)

畑・農地・空地等



山林があります。カブトムシやセミ類などの昆 虫類のほか、ニホンアカガエルもみられます。 周辺の水田にはウキクサによく似たイチョウウ





があり、谷底にも日当たりのよい湿地がみられます。市内の湿地とし ては規模の大きなもので、モウセンゴケ類やミミカキグサ類、ミカヅ キグサ、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチなどの湿地特有の動植物







① 大草斤陵

市境の丘陵の稜線から4本の谷がのび、谷沿いに水田やた め池があります。耕地整理されていない自然性の高い水田 や水路が残っているところがあり、さまざまな動植物の生 息生育の場所となっています。

湿った場所に生育するサクラバハンノキやハンノキ群落が あり、道沿いにはワレモコウやノアザミが、水路沿いや湿 地にはヌマトラノオ、ハルリンドウ、イヌタヌキモなどの植物がみられます。トノサマガエル、ドジョウ、トンボ類、 タニシ類などの動物も多くみられます。谷の周りの林の中 にはノウサギの糞がみられます。



ヌマトラノオ

② 三ヶ峯斤陵

標高100~180mの丘陵地で、アカ マツやコナラを主体とする里山(二次 林)が多く残っています。林にはオキ アガリネズやギフチョウの食草である スズカカンアオイがみられます。 また、この地域に特徴的な種であるフ モトミズナラが多くみられます。 ため池や湿地も多く、トンボ類や水草 などこれらの環境に生息生育する特徴 的な動植物が多くみられます。





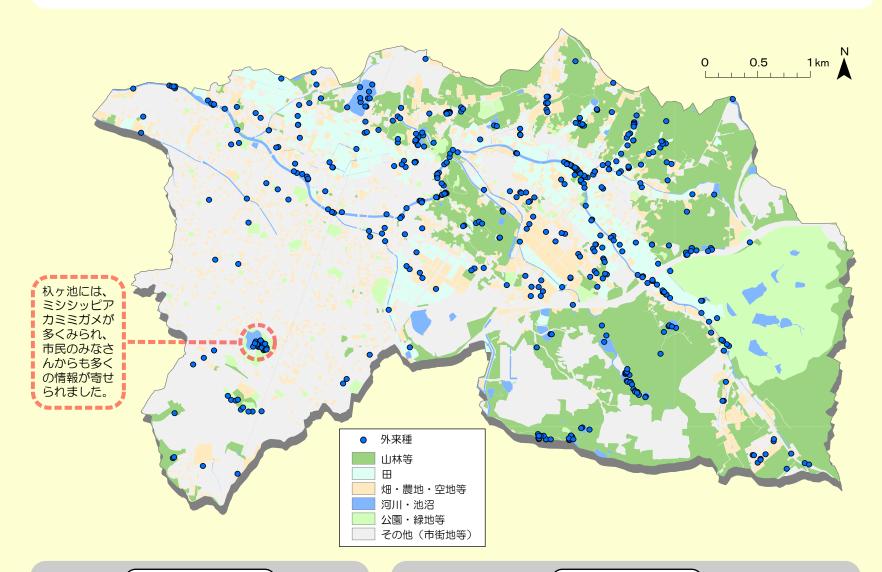


【注】愛・地球博記念公園は県有施設の公園であ るため、今回の調査の対象外としました。

【2】みんなで考えよう「外来種」の問題

「外来種」とは?

外国など本市以外の場所から人が故意に持ち込んだり、人の活動などにともなって進入してきた生きものです。 今回の調査では、地域本来の生態系におよぼす影響が大きいと考えられる16種の外来種を選んで調査し、522 件の情報が集まりました。外来種はこれからも増えていくおそれがあります。増えすぎて他の生きものが生きら れなくなるなど、問題が大きくなってしまった場合には、駆除することも考える必要があります。



陸の主な外来種

ハクビシンやアライグマによる農作物への被害が しばしば発生しています。タイワンタケクマバチは 最近広がりはじめた新しい外来種です。 夏にはオオキンケイギクの黄色の花があちこちで 目につきます。







タイワンタケクマバチ



オオキンケイギク

水辺の主な外来種

市内のほとんどのため池や河川では、ヌートリア、ミシシッピアカミミガメ、 ウシガエル、オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギルがみられます。 ため池には移入スイレン属、河川にはキショウブなどがみられ、市街地周辺 だけでなく、河川の上流部にも広がっています。



ヌートリア

ミシシッピアカミミガメ







ブルーギル

キショウフ

守っていきたい長久手の絶滅危惧種たち

本市では、絶滅のおそれのある生きものたち(絶滅危惧種)は、主に水がきれいで自然性の高いため池や湧水湿地、 谷戸田といわれる昔ながらの水田とその周囲の畔(あぜ)や草地と二次林、本地域に特有のやせた丘陵地などにみ られます。これらの生きものたちの多くは、丘陵地や湿地の開発、耕作放棄水田の増加、里地や里山の手入れがな されなくなり環境が変化してきたことなどによってその数を減らしてきました。私たちはそのような状況を知り、 人と自然が共生できるよう考え、行動していくことが大切です。







水辺や湿地





イシモチソウ



シラタマホシクサ





サギソウ

【3】「市民参加調査」へのご協力ありがとうございました

ミズオオバコ

「市民参加調査」とは?

今回の調査では、できるだけ多くの生きものの情報を集めるため、市民の みなさんに参加していただくアンケート調査を実施しました。

この調査では、生きものにあまり詳しくない人でも分かりやすい25種の 生きものを対象にしました。

その結果、97名の市民のみなさんから合計491件の生きものの情報を提供 していただきました。これらのうち場所が分かっている393件の情報は、 このマップに取り入れています。

調査にご協力いただいたみなさま、 本当にありがとうございました。 今回の市民参加調査をきっかけに、 これからも身近な自然に関心を もっていただければ幸いです。



「長久手市生きものマップ」 平成25年12月

編集・発行:長久手市役所 くらし文化部 環境課

住所: 〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地1 電話:0561-56-0612 FAX:0561-63-2100

電子メール: kankyo@city.nagakute.lg.jp